

## 第 10 回気象ビジネスフォーラム開催報告

令和 8 年 2 月 19 日（木）に、第 10 回気象ビジネスフォーラムを全電通労働会館およびオンラインのハイブリッド形式で開催しました。会場には 186 名、オンラインでは 254 名と、計 440 名の方にご参加いただきました。

今回のフォーラムは、ビジネスの生産性向上に不可欠な「AI と気象ビジネス」をテーマに、産業界および学术界の第一線で活躍する研究者や実務者が、それぞれの立場から気象ビジネスの現状と今後の展望について多角的に議論しました。

フォーラム冒頭では、気象業務振興議員連盟会長の古屋圭司衆議院議員より、ビデオメッセージによるご挨拶をいただきました。続いて、ご来場いただいた同議連事務局長の末松信介参議院議員からご挨拶をいただきました。



古屋衆議院議員によるご挨拶



末松参議院議員によるご挨拶

第一部は『講演の部』として、基調講演とパネルディスカッションを行いました。

基調講演では、国立研究開発法人理化学研究所の三好健正（みよしたけまさ）チームプリンシパルから、「ビッグデータ同化：ゲリラ豪雨予測から気象制御への挑戦」と題して、ビッグデータ同化やスーパーコンピュータを活用した最新の気象予測技術について紹介されました。従来の予測手法では捉えきれなかった局地的な気象現象への対応や、将来的な気象制御の可能性についても言及され、参加者の関心を集めました。

パネルディスカッションでは、越塚登教授（WXBC 会長）をモデレータ、三好健正チームプリンシパル、株式会社日立製作所の浅原彰規（あさはらあきのり）（主管研究員）、株式会社 MUJINKI の中村健太 CEO の 3 名をパネリストとして、「AI の活用と気象ビジネス

の展望」をテーマに議論していただきました。アカデミア、民間企業、スタートアップ、という異なるバックグラウンドをもつ登壇者それぞれの立場から、気象データ×AIの現状と課題、ビジネスの将来像について活発な議論が交わされ、それぞれの視点が交差することで、多角的なアイデアと新たな連携の可能性が浮かび上がりました。



三好健正チームプリンシパルの講演の様子



パネルディスカッションの様子

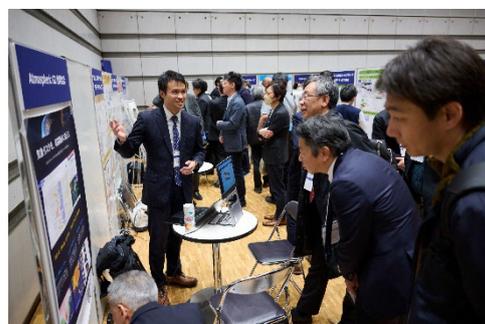
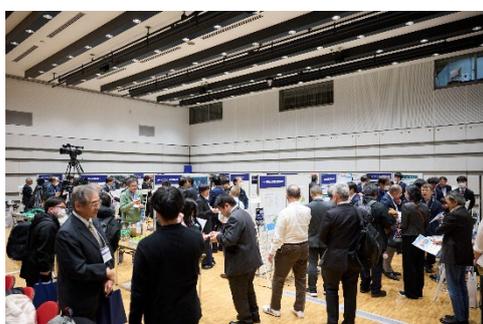


モデレータの越塚登 WXBC 会長



[パネリスト左から] 三好健正チームプリンシパル、浅原彰規主管研究員、中村健太 CEO

第二部では、気象会社を含む民間企業、学術機関、公的機関、他省庁など、WXBC 会員 27 者が気象データを活用したサービスや事例を紹介するブース展示を行い、来場者との活発な交流が行われました。



ブース展示の様子

講演やパネルディスカッション等の様子は「気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC)」の YouTube チャンネルで公開しておりますので、ぜひご覧ください

第 10 回気象ビジネスフォーラム (YouTube 再生リスト)

<https://youtu.be/VdZuNuy0Daw>

今後も WXBC は気象データの利活用促進、気象データを扱える人材の育成支援、気象データを有効活用した既存ビジネスの効率化・新規ビジネスの創出支援等に積極的に取り組んでまいります。